


(別記様式2)

## 食に関する専門家を派遣した食育啓発活動報告書


該当する番号に○印を、空欄及び【 】内は必要事項をご記入ください。

実施主体	学校名	宇都宮市立旭中学校		
	住所	栃木県宇都宮市天神1丁目1番42号		
	学校長名	小栗 英樹		
講話等の内容	食育講話（宇都宮の地場産物やSDGsのことなど）			
開催日時	期 日：	令和7年 7月 14日（月）		
	時 間：	14時 45分 ～ 15時 35分		
	場 所：	体育館		
専門家氏名	職 名	管理栄養士・健康運動指導士・野菜ソムリエ	氏 名	入江 成子
	所 属	株式会社 日本栄養給食協会		
参加者数	1	児童・生徒(対象学年 2学年	180名程度)	
	2	保護者(	名程度)	
	3	教職員(	10名程度)	
	4	その他(	名程度)	
実施の概要 (実施方法・タイムスケジュール・写真等)	講話形式（スライドを使用しながらのご説明） (講話内容) ・地産地消 ・宇都宮の農業 ・野菜や果物の流通 ・食と持続可能な環境 			
実施結果・考察 (評価と今後の活用方法)	生徒は、専門家の話をじっくり聞いていた。「地産地消」という言葉は、小学校からの知識としてもあったようだが、専門家に教えていただくことで、その意義について改めて考えることができたようだった。また、「地産地消」や「宇都宮でよく採れるのは、しいたけやニラ」などと学んだ内容を講和後の家庭科の授業で生徒が発言するという様子が見られた。普段の食事（給食）と、本講話の内容をつなげられるような声かけ等をしていきたい。 以下、生徒のふりかえりより。 「地産地消は野菜や果物を運搬する点で遠くに運ばなくていいことから環境にいいとわかった。」「地産地消は、地域を活性化するととても大事な活動だとわかった。そして地産地消は、消費者、生産者など多くの人に利益をがあることに驚いた。」「私達の食には沢山の人が関わってくれているのだなと思いました。これからもその方々たちに感謝をしながら食事をしていきたいと思います。」			

(別記様式2)

## 食に関する専門家を派遣した食育啓発活動報告書

該当する番号に○印を、空欄及び【 】内は必要事項をご記入ください。

実施主体	学校名	日光市立大沢中学校		
	住所	〒321-2341 栃木県日光市大沢町97番		
	学校長名	永吉 紀子		
講話等の内容	○地産地消 ○日光市の農業 ○朝食の大切さ ○選食力			
開催日時	期 日 :	令和7年 10月10日 (金)		
	時 間 :	13時40分 ~ 15時00分		
	場 所 :	大沢中学校体育館		
専門家氏名	職 名	管理栄養士	氏 名	入江 成子
	所 属	株式会社 日本栄養給食協会		
参加者数	1	児童・生徒(対象学年 3学年 120名程度)		
	2	保護者( 0名程度)		
	3	教職員( 8名程度)		
	4	その他( 3名程度)		
実施の概要 (実施方法・タイムスケジュール・写真等)	実施方法・タムスケジュールは別紙参照 			
実施結果・考察 (評価と今後の活用方法)	生徒の振り返りから、地産地消のことと、朝食の大切さについて特に印象に残っているようだった。実物を使ったクイズ形式の講話は生徒の興味関心をひき、野口菜といった伝統野菜を詳しく知ることのできる内容だった。また、朝食を抜くデメリットを知れたことで、食べることの大切さや意味を改めて実感できたようだった。今の自分の食生活を振り返り、将来について考えることのできる良い機会だったと思う。今後は、学校給食に継続した地場産物の活用と、食事の中身(どのようなものをどう食べたら良いか)について、指導や啓発をしていきたいと思う。また、今回の講話で質疑応答の時間を設けなかったのが、次回は設置してより講話の学びを深めたいと思った。			

(別記様式2)

### 食に関する専門家を派遣した食育啓発活動報告書

該当する番号に○印を、空欄及び【 】内は必要事項をご記入ください。

実施主体	学校名	佐野市立北中学校
	住所	栃木県佐野市富岡町93
	学校長名	上野 善巳
講話等の内容	調理実習を通して1食分の献立と栄養バランスについて	
開催日時	期 日 :	令和7(2025)年 12月 5日(金)
	時 間 :	13時30分 ~ 14時20分
	場 所 :	佐野市立北中学校(調理室)
講師氏名	栃木県教育委員会事務局健康体育課 副主幹 川出典子 副主幹 酒主毅紀	
参加者数	1	児童・生徒(対象学年 1~3学年 20名程度)
	2	保護者( 15名程度)
	3	教職員( 3名程度)
	4	その他( 名程度)
実施の概要 (実施方法・タイムスケジュール・写真等)	タイムスケジュール 13:30~13:40 講師紹介・実習の説明 13:40~14:00 調理実習 14:00~14:20 試食・講話(食事の重要性について)	
実施結果・考察 (評価と今後の活用方法)	中学生になると朝食を摂らない生徒も増えてくるが、どうして朝食を摂ることが必要かということや食事の重要性について、親子で調理をしたり、講話を聞いたりすることで具体的に理解できたと思う。また、保護者への食育啓発活動としてとてもよい機会になった。 今後、朝食を摂らない生徒や偏食の生徒が少しでも減ってくれるとよいと思う。	

(別記様式2)

### 食に関する専門家を派遣した食育啓発活動報告書


該当する番号に○印を、空欄及び【 】内は必要事項をご記入ください。

実施主体	学校名	佐野市立出流原小学校		
	住所	佐野市出流原町1038-1		
	学校長名	前田 敏恵		
講話等の内容	食事の役割やバランスの良い食事の大切さについて			
開催日時	期 日 :	8年 2 月 3 日 (火)		
	時 間 :	13時50分 ~ 14時35分		
	場 所 :	出流原小学校 図書室		
専門家氏名	職 名	管理栄養士	氏 名	大津 智仁
	所 属	とちぎスポーツ医科学センター		
参加者数	1	児童・生徒(対象学年 4・5・6 学年 23 名程度)		
	2	保護者( 1 名程度)		
	3	教職員( 6 名程度)		
	4	その他( 6 名程度)		
実施の概要 (実施方法・タイムスケジュール・写真等)	講話25分程度 保健給食委員の児童が「給食の好き嫌いについてのアンケート」結果を発表した後、食事の役割やバランスの良い食事の大切さについて、パワーポイントを使用した講話 写真は別に添付			
実施結果・考察 (評価と今後の活用方法)	児童に分かりやすい栄養バランスのお話や、成長は一生に1度しかチャンスがないこと、自分の体は今まで自分が食べたものからできているというメッセージ、大変ありがたかった。 ぜひまた来ていただきたいという教職員の声や、自分の学校にも来てほしいという他校の養護教諭の声があった。機会があれば、またお願いしたい。			

(別記様式2)

## 食に関する専門家を派遣した食育啓発活動報告書

該当する番号に○印を、空欄及び【 】内は必要事項をご記入ください。

実施主体	学校名	栃木市立小野寺小学校		
	住所	栃木県栃木市岩舟町下岡646-5		
	学校長名	櫻井 由美子		
講話等の内容				
開催日時	期 日 :	令和8年 2月 6日 (金)		
	時 間 :	10時 40分 ~ 11時 25分		
	場 所 :	2年生教室		
専門家氏名	職 名	管理栄養士	氏 名	大津 智仁
	所 属	とちぎスポーツ医科学センター		
参加者数	1	児童・生徒 (対象学年	2 学年	16 名程度)
	2	保護者 (	0	名程度)
	3	教職員 (	6	名程度)
	4	その他 (	0	名程度)
実施の概要 (実施方法・タイムスケジュール・写真等)	実施方法、内容等は添付の資料を参照。 			
実施結果・考察 (評価と今後の活用方法)	食べ物は「黄・赤・緑」の3つのグループに分けられることや、それぞれ体の中での働きが異なることから、バランスよく食べることが重要であることを分かりやすく学ぶことができた。その後の児童の感想や給食時の様子からも、自分の体のために好き嫌いせず何でも食べようとする意欲の向上を感じられた。			